国土交通省東北地方整備局
Tohoku Regional Development Bureau
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記者発表

令和５年１０月２５日
国土交通省東北地方整備局
福島河川国道事務所

国道399号伊達橋（だてはし） 新しい橋の形式が決定しました

○　令和４年３月１６日に発生した福島県沖を震源とする地震により被災した、国道３９９号伊達橋（だてはし）の復旧については、国の権限代行で実施しております。
○　復旧方針については、「上部工の架け替え」及び「下部工の補強」を行う事として令和４年８月に決定しております。
○　今般、復旧方針に基づき新しい伊達橋の形式が決定しましたのでお知らせいたします。

■新しい伊達橋の概要
・延長　Ｌ＝２９０ｍ
・幅員　Ｗ＝８．０ｍ　（２車線）
（橋梁形式のポイント）
・地震災害防止のため橋桁を軽量化
・橋台・橋脚は既設を利用し補強等を実施

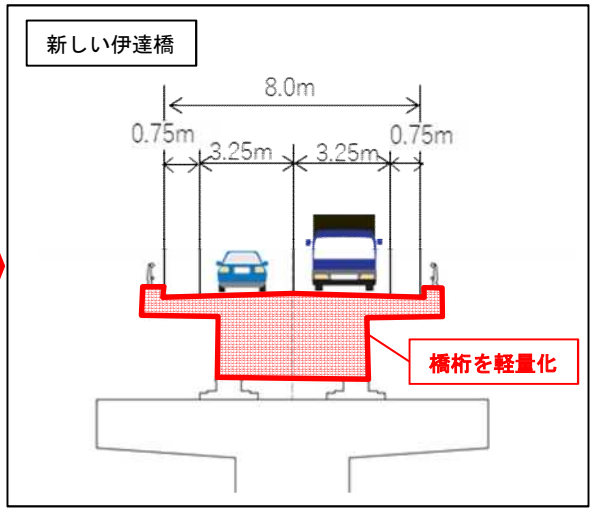
■引き続き、伊達橋の一日も早い復旧に向け、国土交通省として全力で取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。

＜記者発表先＞福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ

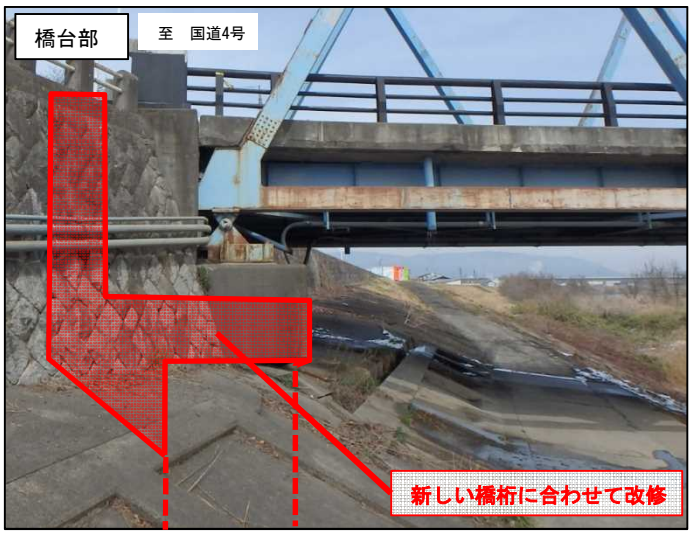
問　い　合　わ　せ　先
国土交通省　東北地方整備局　福島河川国道事務所 電話024－546－4331（代表） 副　所　長　　伊藤（いとう）　英和（ひでかず）　（内線205）

国道399号　伊達橋（だてはし）　概要



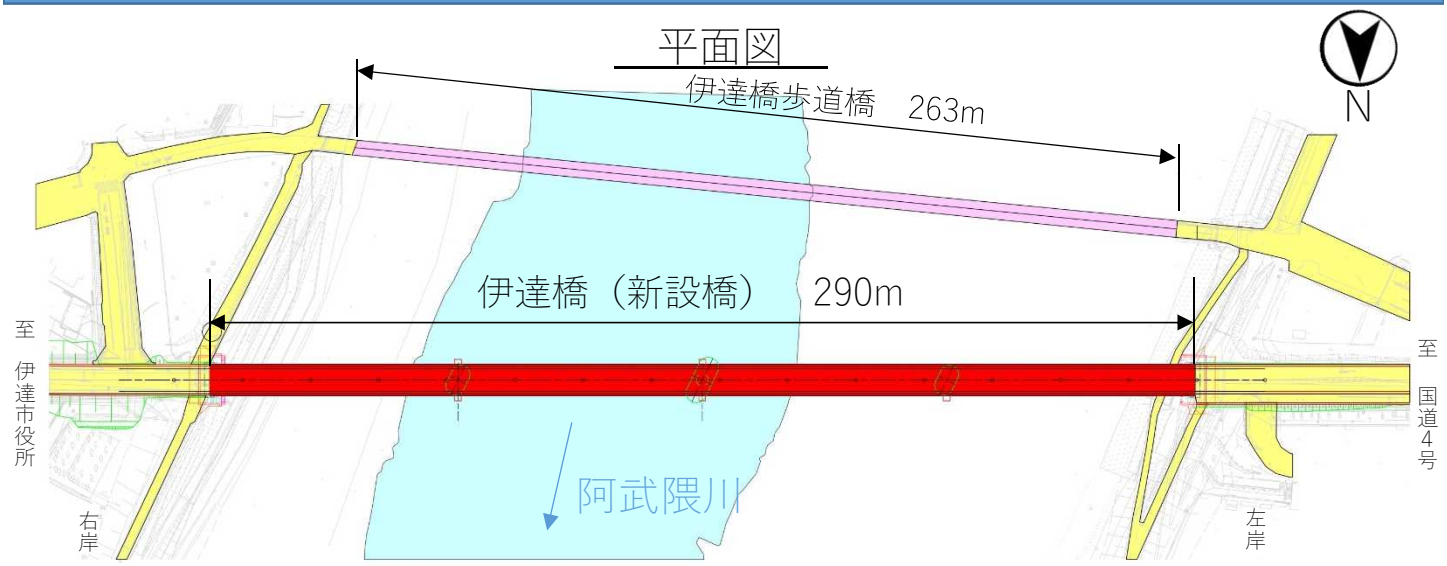






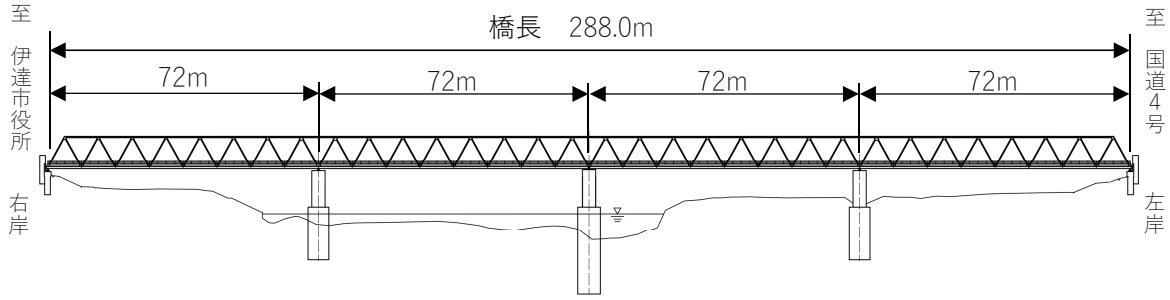


国道399号「伊達橋」形式概要

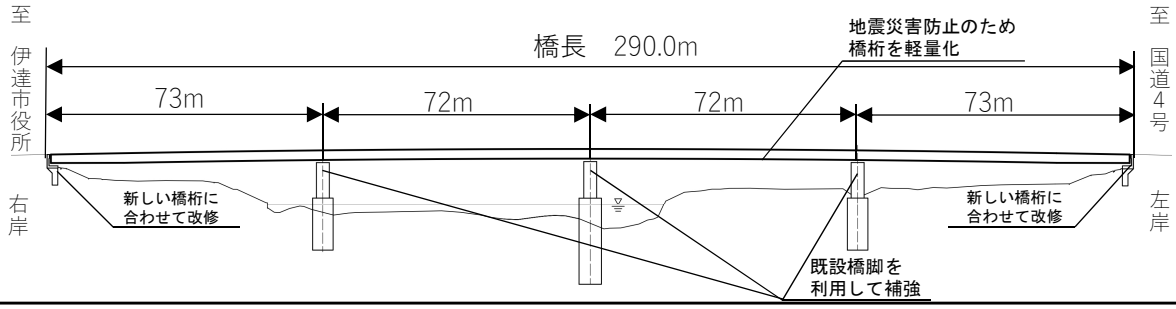


■橋梁概要

被災した伊達橋（４径間連続ワーレントラス橋）

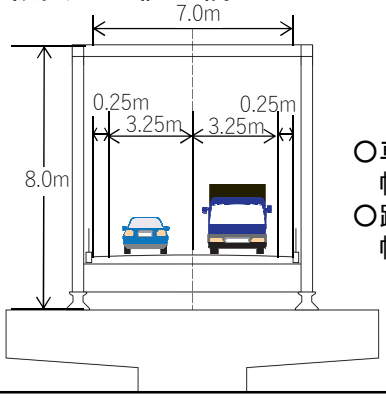


新しい伊達橋（鋼床版4径間連続鋼箱桁橋）



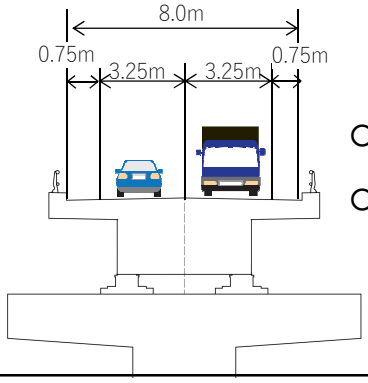
■断面図

被災した伊達橋



○車道
幅3.25m×2車線
○路肩
幅0.25m×2車線

新しい伊達橋



○車道
幅3.25m×2車線
○路肩
幅0.75m×2車線